

3 / 1 4 (木) の行事

報道発表資料の配付日時 3月12日(木) 15時00分

発表項目 (行事名)	「世界腎臓デー啓発パネル展」の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時) 月 日 () 時 分～	発表者	
		発表場所	
概要	<p>糖尿病が原因となって慢性腎臓病を発症する方の割合は約50%となっています。慢性腎臓病になると、透析が必要になったり、脳卒中や心筋梗塞などを併発する可能性があるなど、生活の質に大きな影響があることから、北海道では、病気の正しい知識を啓発するため、世界腎臓デーにあわせてパネル展を開催します。</p> <p>[日 時] 平成31年3月14日(木) 10:00～15:00</p> <p>[場 所] 札幌駅前通地下広場 北大通交差点広場[西](13番出口付近)</p> <p>[参集範囲] 一般道民</p> <p>[内 容]</p> <p>(1)パネル・ポスター展示 生活習慣の改善、受診・服薬の継続等の重要性を認識してもらい、糖尿病及び慢性腎臓病の発症・重症化予防のための知識を深める機会とする。</p> <p>(2)グッズ・パンフレット配付 協賛企業からの協賛品を配付し、世界腎臓デーの普及啓発を図る。</p> <p>(3)個別相談及びミニ講話(13:00～15:00内14:00～14:30はミニ講話) 患者の個別の悩みに対応するため、腎臓専門医による相談会及びミニ講話を開催する。 なお、上記の時間以外でも、保健師による対応は可能。</p>		
参 考 ※発表のポイントやねらい、経緯等	<p>【世界腎臓デーとは】 毎年3月第二木曜日を「世界腎臓デー」としています。 腎臓病の早期発見と治療の重要性を啓発する国際的な取組として、国際腎臓学会と腎臓財団国際協会によって定められました。</p>		
報道(取材) に当たって のお願い	糖尿病や腎臓病の予防を進めるため、多くの地域住民に参加いただけるよう、積極的な報道をお願いいたします。		
他のクラブ との関係	同時配付 (場所)		
担 当 (連絡先)	保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策グループ(担当者:住友) TEL ダイヤルイン 011-204-5117、内線 25-508		

World
Kidney
Day™

3月
第2木曜日は

世界腎臓デー

世界腎臓デーとは

世界腎臓デーは世界6大陸100カ国以上の国々でさまざまな啓発キャンペーンが開催され、腎臓病の早期発見と治療の重要性を啓発する国際的な取り組みとして、国際腎臓学会と腎臓財団国際協会によって定められました。各国の医師やコメディカル、患者や患者家族が主体となって啓発活動を盛り上げます。

世界腎臓デー パネル展を開催

日時：平成31年3月14日(木) 10:00～15:00

(14:00～14:30 腎臓専門医によるミニ講話を行います)

場所：札幌駅前通地下広場
北大通交差点広場[西] (13番出口付近)

13:00～15:00
相談コーナー有り。
お気軽にご相談ください。

お問い合わせ 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課 011-231-4111 (内線 25-527)

主催：慢性腎臓病対策連絡会議、北海道腎臓病患者連絡協議会、北海道糖尿病協会、
全国健康保険協会北海道支部

協賛：協和発酵キリン株式会社、株式会社クリニコ、大日本住友製薬株式会社、中外製薬株式会社、
バイエル薬品株式会社

後援：北海道医師会、北海道歯科医師会、北海道糖尿病対策推進会議、日本糖尿病学会北海道支部、
北海道透析療法学会、NPO 法人日本腎臓病協会

「世界腎臓デー啓発パネル展」開催要領

1 目的

道内では慢性腎臓病の進行等による透析導入患者数は減少傾向にあるものの、その原疾患の約半数は糖尿病性腎症となっている。慢性腎臓病は、脳卒中や心筋梗塞などを併発するリスクがあること、透析導入などにより、その後の生活の質に重大な影響を及ぼすことから、3月第二木曜日の「世界腎臓デー」の時期にパネル展を開催することで、道民が糖尿病及び慢性腎臓病の症状を理解するとともに、発症及び重症化を防ぐための知識や方法を知る契機とする。

2 日時及び場所

平成31年3月14日（木） 10:00～15:00

札幌駅前通地下広場（北大通交差点広場[西]）

3 主催等

- (1)主催：慢性腎臓病対策連絡会議、北海道腎臓病患者連絡協議会、北海道糖尿病協会、全国健康保険協会北海道支部
- (2)協賛：協和発酵キリン株式会社、株式会社クリニコ、大日本住友製薬株式会社、中外製薬株式会社、バイエル薬品株式会社
- (3)後援：北海道医師会、北海道歯科医師会、北海道糖尿病対策推進会議、日本糖尿病学会北海道支部、北海道透析療法学会、NPO 法人日本腎臓病協会

4 事業内容

- (1)パネル・ポスターの展示や腎臓専門医によるミニ講話により、生活習慣の改善、受診・服薬の継続等の重要性を認識してもらい、糖尿病及び慢性腎臓病の発症・重症化予防のための知識を深める機会とする。
- (2)啓発用チラシ及び協賛企業からの協賛品を配布し、世界腎臓デーの普及啓発を図る。
- (3)患者・家族等の個別の悩みに対し、腎臓専門医等による個別相談会を開催する。

5 周知等

- (1)世界腎臓デー（3月第2木曜日）に係る取材要請
- (2)記者クラブへの投げ込み
- (3)チラシの作成・配布